

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	住宅小委員会	主 査 名：高田光雄 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>本小委員会は、「住居・住宅地(大会発表論文分類による)」を対象とした課題を検討することを目的とし、下記の重要かつ緊急性のある課題を検討する。</p> <p>都市のライフスタイル・住文化に関する今後のあり方の検討。 団地再生に関する解決方法の検討と公表。 最近 10 年間の集合住宅計画の調査研究のまとめの公表。 海外の集合住宅計画事例の収集と検討 住宅研究における若手研究者の論文発表会の開催 住宅関連学会、及び設計事務所研究会等との交流の検討</p> <p>初年度(2004):「事例で読む現代集合住宅のデザイン」の刊行 2 年度(2005):公開研究会、住宅系研究報告会(シンポジウム)の検討 3 年度(2006):住宅系研究報告会(シンポジウム)の実施 団地再生に関する検討成果の発表 4 年度(2007):4 年間の活動成果を雑誌や単行本で発表</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	森保 洋之(広島工業大学) 杉山 茂一(大阪市立大学) 初見 学(東京理科大学) 野口 孝博(北海道大学大学院) 高田 光雄(京都大学大学院) 岡 俊江(九州女子大学) 西村 伸也(新潟大学) 高井 宏之(三重大学) 花里 俊廣(筑波大学) 鈴木 雅之(千葉大学) 安武 敦子(東京理科大学) 篠崎 正彦(昭和女子大学短期大学部) 大橋 寿美子(日本女子大学) 真野 洋介(東京工業大学大学院) 木瀬 晴也(都市再生機構総合研究所)	
設置 WG (WG 名:目的)	ライフスタイル・住文化 WG:都市のライフスタイル・住文化に関する今後のあり方の検討 集合住宅フォーラム WG:集合住宅に関する動向の把握と研究集会の開催 海外集合住宅 WG:海外の集合住宅計画事例の収集と検討 団地再生 WG:団地再生に関する解決方法の検討と公表。	
2005 年度予算	386,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s8/top.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	委員会開催年 5 回、WG 開催年 24 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 重版(1,000 部)「事例で読む現代集合住宅のデザイン(2004.10 刊)」
講習会	なし

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	<p>1. 都心居住の新しいあり方と都市型住宅のデザイン (資料名)なし 2. 住まいの安心を何に求めるか (資料名)なし 3. 京都・職住共存地区の新動向見学会 (資料名)見学会資料</p>	<p>参加者数 150 名 参加者数 30 名 参加者数 25 名</p>
<p>大会研究集会</p>	<p>なし</p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	<p>なし</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 2回の公開研究会と1回の見学会を開催した 2. 住宅系研究報告会(シンポジウム)の企画立案をし、来年度開催に向けた準備が整った</p>	
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>特になし</p>	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。